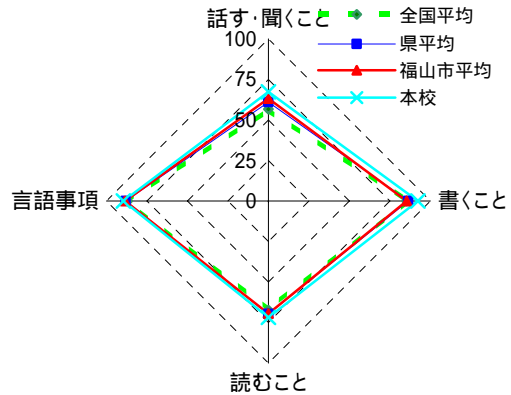


国 語

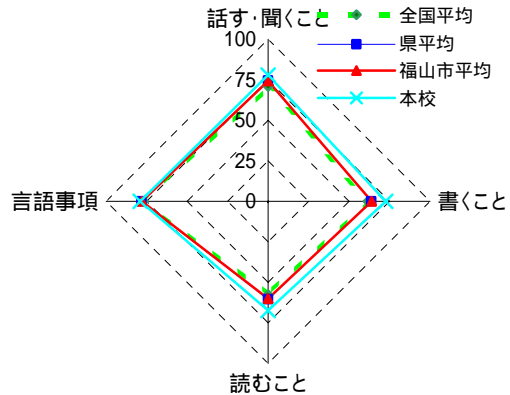
全国学力・学習状況調査正答率（A問題）

全国平均 81.7% 県平均 83.3%
 福山市平均 83.9% 学校平均 86.7%



全国学力・学習状況調査正答率（B問題）

全国平均 62.0% 県平均 65.0%
 福山市平均 65.0% 学校平均 71.0%



全国学力・学習状況調査に関する校内研修の内容

一人一人が問題を解き、出題の趣旨と学習指導要領の内容・領域、評価の観点との関連を明らかにし、児童の誤答をもとに分析した。また、課題克服に向けた取り組みの方向性と具体を明らかにした。

各学年が分担して設問ごとにポスターセッションを行い、指導すべき内容を明らかにする研修を実施した。

重点課題（ : 全国学力・学習状況調査）

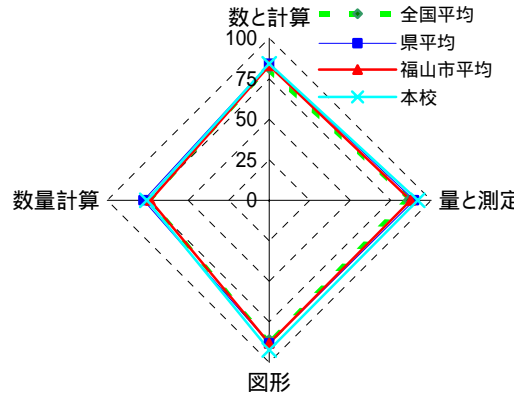
情報の中から必要な事項を取りだし、新聞の1部に注意点として書き換える問題・・・情報の中から筆者の意図を読み取り、回収する側の視点で書かれた内容を視点を換えて回収に出す側の視点で書き換えていない。
 相手の立場を考えて、文章や内容を客観的に評価し、より良い表現になるように推敲する問題・・・相手意識を持って推敲し、敬語を適切に使えていない。
 記述式問題・・・設問にそった適切なことばを使って簡潔に表現することができていない。

重点課題・校内研修に対応した改善する指導内容及び方法

「読むこと」の学習では、内容や筆者の考えをまとめる学習が中心であった。読み手である児童の意見や考えを明確にしたり、論の展開・述べ方の工夫といった視点で読み進めたりするなど、視点を換えた「読み」の指導も加えて行う。また、授業の中で「書く」ことを取り入れ、評価することで、根拠をもとに説明する力や簡潔にまとめて書く力をつける。
 「書くこと」の学習では、言語活動を積極的に取り入れ、書いたものを推敲してきた。推敲の視点を示すことで文章や内容が分かりやすくなっているか客観的に評価する力や推敲する力をつける。また、適切な表記や記述・段落構成などを習得させる。自分の考えを展開させるとき、根拠をもとに説明させたり書かせたりしてきた。適切な接続詞やナンバリング・段落構成を意識した文章作りをさせ論理的に説明する力をつける。

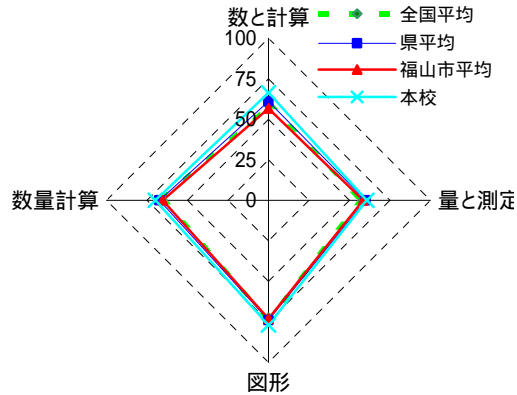
全国学力・学習状況調査正答率（A問題）

全国平均	82.1%	県平均	84.7%
福山市平均	82.6%	学校平均	84.2%



全国学力・学習状況調査正答率（B問題）

全国平均	63.6%	県平均	65.0%
福山市平均	62.9%	学校平均	67.9%



全国学力・学習状況調査に関する校内研修の内容

一人一人が問題を解き、出題の趣旨と学習指導要領の内容・領域、評価の観点との関連を明らかにし、児童の誤答をもとに分析した。また、課題克服に向けた取り組みの方向性と具体を明らかにした。

各学年が分担して設問ごとにポスターセッションを行い、指導すべき内容を明らかにする研修を実施した。

重点課題（ : 全国学力・学習状況調査）

情報過多の場面から必要な情報（数値）を選択する力が十分でない。

図形・量と測定の領域の力が十分でない。

5 与えられた条件をもとに、地図を観察して図形を見出し、面積を比較して説明することができるかどうかみる問題

誤答...平行四辺形の「高さ」を、斜辺の長さとして面積を求めている。

筋道を立てて考え、その過程を説明することができない。

6 式の形に着目して計算結果の大小を判断し、根拠となる考えを説明することができるかどうかみる問題

誤答...式の形に着目できず、身長差のみを記述している。

4 各曜日の安売りの条件をもとに、百分率を用いるなどしてそれぞれの代金を求め、その代金を比較することができるかどうかみる問題

重点課題・校内研修に対応した改善する指導内容及び方法

過剰な情報から必要な情報を選択する力をつける。

- ・ 過剰な情報を含んだ場面や事柄を提示し、それらから問題解決に必要な情報を選択する活動を取り入れる。

図形に対する感覚を豊かにする。

- ・ 図形の性質を見つける場面で、算数的活動を取り入れる。
- ・ 地図などの日常的に使うものの中から図形を見出し、その性質を用いて問題の解決を図る活動を取り入れる。

論理の組み立て方がわかり、筋道を立てて説明する力をつける。

- ・ 問題解決の過程を、図や言葉や式などを用いて説明する活動を大切にする。
- ・ どういう順番で問題解決をしていけばよいのか、見通しを立てる力を日々の授業で育てる。
- ・ 既習をもとにして、「～だから、～となる」など、根拠を明らかにしながら説明する活動を取り入れる。